「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		通学路等学校安全対策事業費[スクールガード養成事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	5
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 スクールガード等、子どもの見守り活動に携わっている市民					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) スクールガード講習会の参加者数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 見守り活動に必要な知識、技術等を習得する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①登下校時の交通事故の件数 ②学校内で児童が被害を受けた事件の件数					
	③ そのために何をしましたか。 スクールガード養成講習会等を実施し、見守り活動を行っているスクールガード等のボランティアの見守り力を高め、通学路や学校における児童の安全性の向上を図る。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 講習会等の実施回数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	11	9	10					
	成果指標	②の数値	件	①3②0	①0②0	①0②0					
	目 標	②の目標値	件	0	0	0					
目標値設定の考え方 スクールガードが活動することにより、児童が安全に学校生活を送ることができる。											
3 経費	事業費(実績)		円	18,000	25,500	24,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	6,000	8,500	8,000					
		特定財源(国・都・他)	円	12,000	17,000	16,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	412,200	415,500	419,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	430,200	441,000	443,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成13 年度										
	(2) 環境の変化 平成11年度までは、小学校9校13か所に学童交通擁護員が配置されていたが、平成12年度からは、信号機の設置されていない第七小学校の1か所を除き廃止された。それ以降は、地域のボランティア活動が見守り活動の中心となっている。 他府県において、登下校中の児童・生徒が事故に巻き込まれる重大事故が発生したことから、通学路の安全に関心をもち保護者が増加している。										

事業名称	通学路等学校安全対策事業費[スクールガード養成事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	通学時の見守り活動や安全確保については、議会からも一般質問等を通じて適切な運営等について要望がなされている。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	☒ 取り組んだ	取組手法：			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
特になし					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)				
	各学校で組織されているスクールガードそれぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を引き続き行う。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。				
	特になし				
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)					
各学校で組織されているスクールガードそれぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を引き続き行う。					
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
施策名： 学校教育の充実					
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】 通学路の安全確保は重要な問題であり、地域の関心も高まっている。 今後も、ボランティアの方々の負担軽減に配慮しつつ、少しでも多くの方の見守りと活動への理解・協力が得られるように、ボランティア保険への加入や教育委員会だより等を通じてボランティア活動を紹介、募集したい。また、活動に必要な知識・技術の習得と定着が図れるよう、講習会を継続したい。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
特になし					